さんにち NIE ワークシート

山梨日日新聞

年　組　名前：

扇山の消火に使ったホースでお守り製作

大月市消防本部がまつり

大月市消防本部は18日、同市大月町花咲の同本部で「大月消防まつり」を開いた。今年1月の扇山火災で消火作業に使用したホースの布を入れた「お守りキーホルダー」を作るワークショップなど、さまざまなイベントがあり、家族連れでにぎわった。

市消防本部によると、扇山火災で、使用したホース（長さ20㍍）は市消防本部が234本、市消防団が238本。このうち40本は破れるなどして廃棄処分となるという。

消防まつりに向け、ホースの布を入れ込んだお守りを作るワークショップを署員の白鳥敬大さん(33)が考案。白鳥さんは「管内では昨年、今年と大きい山林火災が続いた。防火意識を持ち続けてもらいたいと考えた」と話す。

ブースでは、白鳥さんら署員が扇山火災の焼失面積や消火作業など概要を説明。次々と家族連れが訪れ、大小2サイズで色とりどりのお守りの型を選び、1㌢四方に切り取ったホースの布やビーズなどを入れ、完成させた。

大月東小1年米山碧桜さんと令和にこにこ園年中の桜采さん姉妹＝同市駒橋3丁目＝は「きれいなお守りを作れて楽しい」と笑顔。母親あゆみさん(37)は「いろんなブースがあり、楽しく防火意識を高められる」と話した。〈竹川元久〉

QRコードから動画を見られます

扇山火災で使用したホースの布を入れた安全お守りを作る親子　＝大月市消防本部

（2026 年 10 月 19 日付 山梨日日新聞 16 面）

問1

「大月消防まつり」のワークショップで作ったお守りキーホルダーには、何で使った、何が入れられましたか。

問2

扇山火災で使用されたホースは、大月市消防本部と消防団を合わせて何本ですか。

---本

問3

消防署員の白鳥さんは、どのような思いからワークショップを考えましたか。

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2026 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.